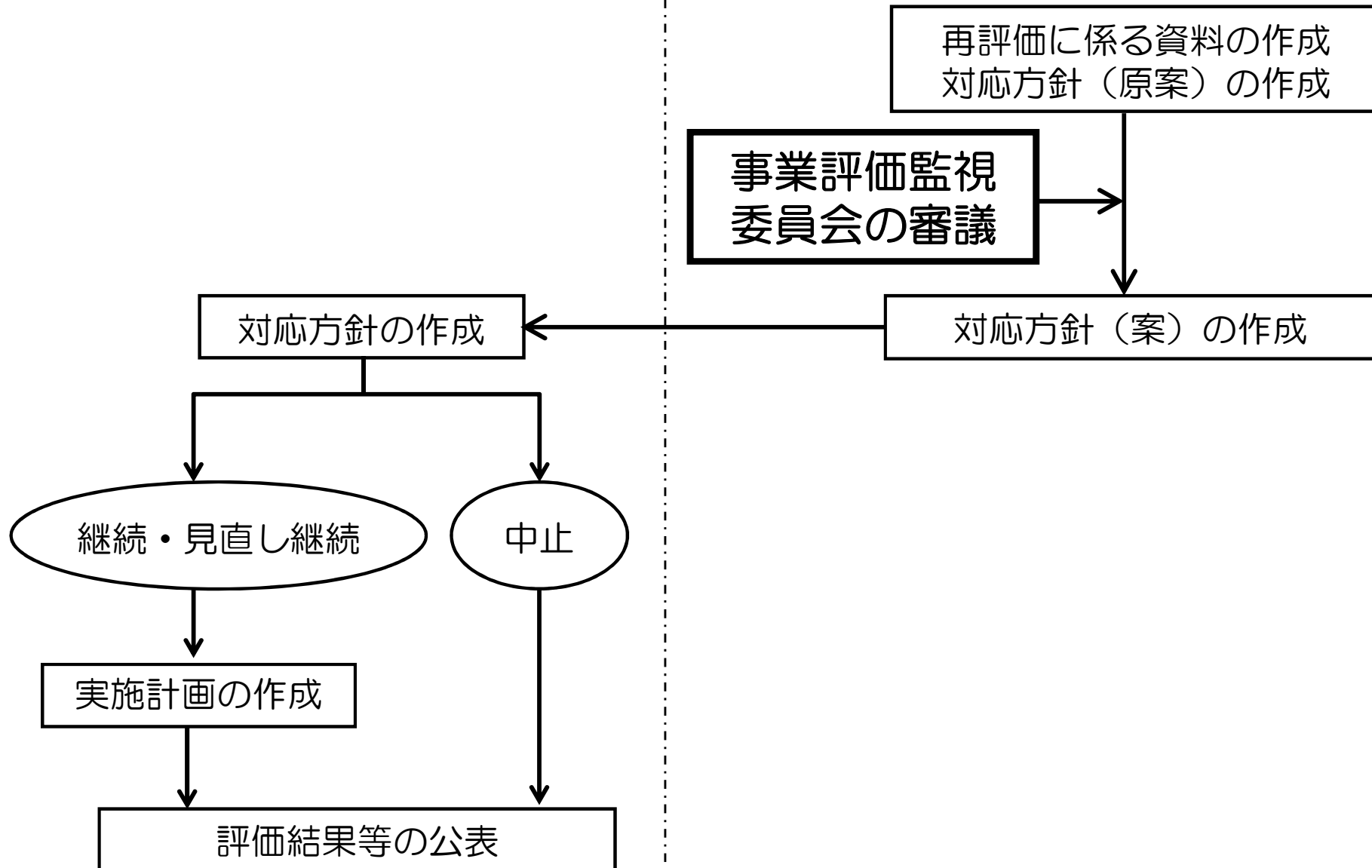


# 再評価について

# 再評価の実施フロー

(国土交通省)

(首都高速道路(株))



# 再評価対象路線一覧

路線名	延長	開通	備考
首都高速 晴海線	2.7Km	平成27年度 (平成21年 2月11日 豊洲～東雲JCT 部分開通)	再評価実施後、 3年間が経過し ている事業
高速 横浜環状北線	8.2Km	平成28年度	再評価実施後、 3年間が経過し ている事業

# 再評価対象路線位置図

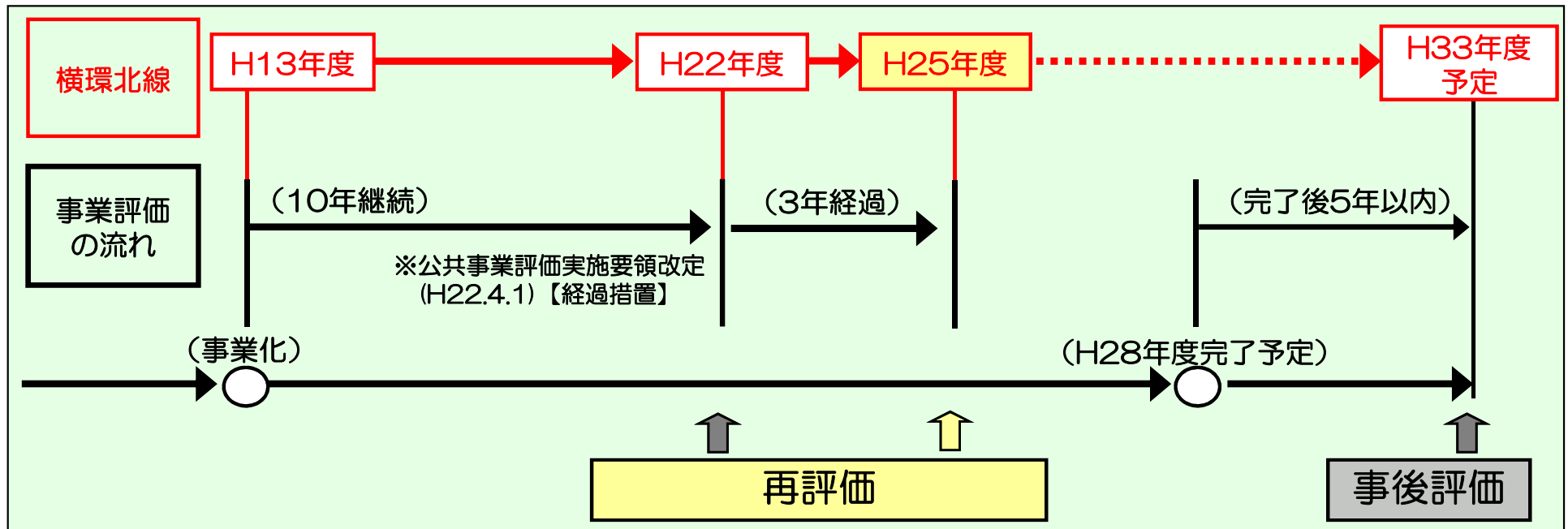
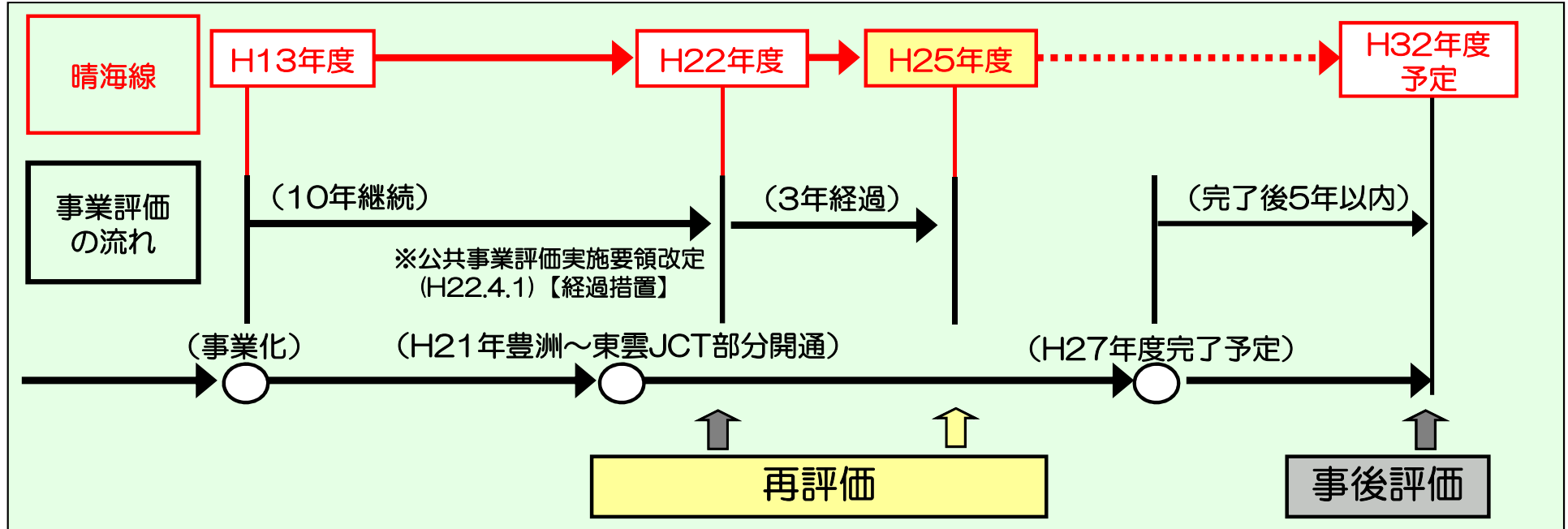


- 再評価**
- ①事業採択後、3年以上経過した時点で未着工
  - ②事業採択後、5年以上を経過した時点で継続中の事業
  - ③準備・計画段階で、3年間が経過している事業
  - ④再評価実施後、3年間が経過している事業
  - ⑤社会経済情勢の変化等により再評価の実施の必要が生じた事業

# 〈対象路線 評価の経緯〉

## ◇事業評価の流れ（公共事業(直轄事業等)）

※新規事業採択時評価については、平成21年度より導入。（H21.12.24実施要領改定）



## 本事業評価の前提条件

- 平成17年度道路交通センサスに基づく将来交通量
- 事業評価に用いる「費用便益分析マニュアル」(H20.11)

### ○ 将来交通量

- 平成42年の将来OD表を基に推計した交通量
- 将来OD表及び交通量推計手法は「将来交通需要推計手法の改善について【中間とりまとめ】」に示された第二段階の改善を反映

### ○ 費用便益分析マニュアル(H20.11)

- 便益および費用の現在価値算出のための社会的割引率：4%
- 基準年次：平成25年度(前回：平成22年度)
- 分析対象期間：供用後50年
- 車種別の時間価値原単位
  - 乗用車 : 40.10円/分・台
  - バス : 374.27円/分・台
  - 小型貨物車 : 47.91円/分・台
  - 普通貨物車 : 64.18円/分・台